



託北だより「あすなろ」No.68

「和」～敬・愛・信～

令和7年12月8日(月)

熊本市立託麻北小学校

文責：小倉 秀俊



HPコード

☀ 「北っ子フェスタ」

12月5日(金)に「北っ子フェスタ」が行われました。ご観覧していただいた保護者の皆様、ご家族の皆様、ありがとうございました。

先月中旬から、インフルエンザの感染者が出始め、学級閉鎖も頻発し、開催が危ぶまれていましたが、何とか実施することができました。

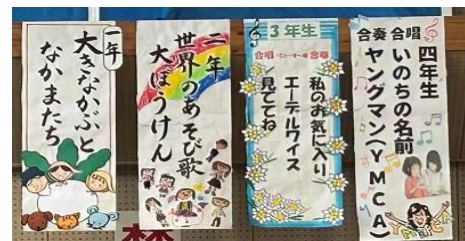
厳しい条件の中、子どもたちは、限られた時間を大切に集中して練習に取り組み、それぞれの学年・学級が、素晴らしい演奏をしてくれました。特に、6年生は最後の「北っ子フェスタ」でした。寒さも吹き飛ばすような迫力のある演奏で会場を感動で包み込みました。

残念ながら参加できなかった子どもたちも、これまでの練習を精一杯頑張っていました。子どもたち一人一人が、一步成長した「北っ子フェスタ」になりました。

また、ご観覧いただいた学校評議員の皆様からも「どの学年も個性があって素晴らしい発表でした。」
「進行がスムーズで、特に高学年の迫力に感動しました。」というお褒めの言葉をいただきました。

以下、教頭講評の一部を紹介します。

1年生は、元気いっぱいの声と動きが印象的な「おおなかぶ」の音楽劇、2年生は身振り手振りで「せかいのあそびうた、大ぼうけん」を見ている人をわくわくさせるように表現し、3年生は、クリアな歌声や優しいリコーダーの音色で「サウンドオブミュージック」の楽曲を聴かせてくれました。



4年生の合唱「いのちの名前」は命の大切さを、心を込めて表現し、合奏「YMCA」では、明るく力強い演奏で会場を盛り上げてくれました。

5年生は「地球へ」を二部合唱で美しく表現し、それぞれのクラスで個性溢れる演奏を披露してくれました。

最後は6年生、深みのある声で、「変わらないもの」を歌い上げ、クラスごとの合奏も圧巻でした。6年間の集大成を感じさせてくれました。

今日の演奏を通して、みなさんが仲間と協力し、心を一つにして取り組んできたことがよく

伝わりました。音楽には人を笑顔にし、心を温める力があります。みなさんの演奏は、観覧した全ての人にその力を届けてくれました。これからも自分と仲間を信じ、音楽や学びを楽しんでください。



「北っ子フェスタ」が終わると、学校も年末の雰囲気になります。冬休みまで残り2週間余り、子どもたちには元気に過ごしてほしいと思います。

☀️「お世話になりました」

村田沙希養護教諭が、出産の準備のため今週からお休みに入ります。これまで、保健室の運営をはじめ、子どもたちの健康の維持増進のための必要な役割をしっかりと果たしてもらいました。また、子どもたちに慕われ、保護者の皆様からの信頼も得ていました。しばしのお別れになりますが、無事な出産を子どもたちと一緒に祈りたいと思います。なお、代替の職員は決まっておりますので、着任時にご紹介いたします。

以下、村田教諭からのメッセージです。

12月8日(月)からお休みをいただくことになりました。約4年間、保健室から子どもたちの成長を見守ることができ、とても嬉しく、充実した毎日でした。保護者の皆様には、様々な場面でご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。今後は代替りの先生が来てくださいますので、これからも安心してお子さんを登校させていただければと思います。